

---

## 【22年度スチュワードシップ活動について】

**対象投資信託：日立国内株式TOPIXインデックスマザーファンド**  
**再委託運用機関：野村アセットマネジメント株式会社**

2023年6月

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

日立投資顧問株式会社（以下、弊社）が受益者様にご提供する運用商品はファンド・オブ・ファンズ型のため、弊社は投資先企業との直接対話や議決権行使の機会はございません。

しかしながら、中長期的な投資リターン向上のための取組みとして、「責任ある機関投資家」の諸原則「日本版スチュワードシップ・コード」（以下、日本版SSC）の趣旨に賛同し、2021年3月末に受入れを表明致しました。

今般、日本版SSCの受入れ表明に基づき、弊社のスチュワードシップ活動として再委託運用機関のスチュワードシップ活動に係るモニタリングの結果をご報告いたします。

なお、モニタリングの対象とする投資信託は**日立国内株式TOPIXインデックスマザーファンド（以下、マザーファンド）**となりますが、当該マザーファンドを組入れているDC向け投資信託は以下の4つの商品です。

- ◆ 日立バランスファンド（株式70）… マザーファンドの基本配分は信託財産の40%
- ◆ 日立バランスファンド（株式50）… マザーファンドの基本配分は信託財産の30%
- ◆ 日立バランスファンド（株式30）… マザーファンドの基本配分は信託財産の20%
- ◆ 日立国内株式インデックスファンド … マザーファンドの基本配分はなるべく高位（通常、フル・インベスト）

### 【マザーファンドの概要】

- 運用目的：TOPIX（東証株価指数、配当込み）をベンチマークとして、ベンチマークの動きに概ね連動する収益率の実現を目指すインデックス運用を行います（パッシブ運用）
- 再委託運用機関：野村アセットマネジメント株式会社（以下、再委託運用機関）

- 弊社は、再委託運用機関が「実効的」、且つ弊社ならびに弊社のお客様の方針と統合的なスチュワードシップ活動を行っているかを、下記の方法でモニタリング致しました。
  - 再委託運用機関の年次責任投資レポート
  - スマートフォーマット※による定時報告 ※日本版スチュワードシップ・コードに対応した運用業界共通の報告様式
  - 定期運用報告ならびにヒアリングの実施
- モニタリング対象であるマザーファンドは、原則TOPIX（東証株価指数、配当込み）採用の全銘柄に投資するパッシブ運用であり、マザーファンドに係るスチュワードシップ活動は、再委託運用機関の全般的な取り組みと共通のものと考えられます。
- 再委託運用機関の年次責任投資レポートに拠れば、「資産運用を通じた社会発展」を自社の役割と位置付け、以下の4つのゴールを目標として取り組んでいます。
  1. インベストメント・チェーン（投資の好循環）の強化
  2. ガバナンスを通じた企業価値の向上
  3. 健全な地球環境の実現
  4. 人権が尊重される社会の実現
- これを実現するため、再委託運用機関は日本版SSCの受入れを表明し、コードの原則に則した①明確な方針の策定、②的確な利益相反の管理および体制の整備、③建設的で目的を持った企業との対話、④企業のガバナンス向上に資する厳格な議決権の行使を通じて、実効的なスチュワードシップ活動を行っているものと評価します。このため、係る活動が投資先企業の企業価値向上と持続可能な社会の構築に繋がり、マザーファンドの中長期的なリターン獲得に資するものと判断します。
- なお、マザーファンドに係る具体的な活動内容として、以下、3頁として「議決権行使状況」、4頁として「再委託運用機関のエンゲージメント活動概要」として纏めています。
- より詳細な再委託運用機関の活動内容については、以下のリンクをご参照ください。

[ESG | 野村アセットマネジメント \(nomura-am.co.jp\)](https://www.nomura-am.co.jp)

[ESG | 責任投資レポート | 野村アセットマネジメント \(nomura-am.co.jp\)](https://www.nomura-am.co.jp)

### 3. 議決権行使状況(2022年度株主総会開催企業)

- 再委託運用機関は議決権を適切に行使しており、棄権はございません。
- 反対行使比率（会社提案：8%、株主提案：91%）は前年と同水準になっております。
- 個別案件（22年度）では、①買収防衛策の導入・更新・廃止（100%）、②退任役員の慰労金支給（75%）への反対が前年同様、高水準となっております。

#### 議決権行使状況

議案内容		会社提案					株主提案				
		議案数 (A)	反対 (B)	賛成	棄権	反対 行使比率 (B/A)%	議案数 (C)	反対 (D)	賛成	棄権	反対 行使比率 (D/C)%
会社機関	取締役の選解任	16,896	1,273	15,623	0	8%	46	44	2	0	96%
	監査役の選解任	1,337	168	1,169	0	13%	9	9	0	0	100%
	会計監査人の選解任	64	0	64	0	0%	0	0	0	0	0%
役員報酬	役員報酬(*1)	934	168	766	0	18%	10	10	0	0	100%
	退任役員の慰労金の支給	101	76	25	0	75%	0	0	0	0	0%
資本政策	剰余金の処分	1,410	62	1,348	0	4%	22	20	2	0	91%
	組織再編関連(*2)	41	6	35	0	15%	0	0	0	0	0%
	買収防衛策の導入・更新・廃止	61	61	0	0	100%	0	0	0	0	0%
	その他資本政策に関する議案(*3)	75	9	66	0	12%	23	23	0	0	100%
定款	-	2,032	18	2,014	0	1%	176	153	23	0	87%
その他	-	5	2	3	0	40%	2	2	0	0	100%
合計		22,956	1,843	21,113	0	8%	288	261	27	0	91%

※1 役員報酬額改定、ストックオプションの発行、業績連動型報酬制度の導入・改定、役員賞与等

※2 合併、営業譲渡・譲受、株式交換、株式移転、会社分割等

※3 自己株式取得、法定準備金減少、第三者割当増資、資本減少、株式併合、種類株式の発行等

## 4. 再委託運用機関のエンゲージメント活動概要

- 再委託運用機関のエンゲージメント活動についてはスマートフォーマット等にて確認しております。
- 再委託運用機関では、企業とのエンゲージメントを約300社※を中心に実施しております。
  - ※ 対象企業は投資金額や投資比率を基準に、重要性等も考慮して選定
- エンゲージメントテーマを以下の9に区分し、一つのテーマに関し3年を目途に進捗管理を実施しております。
  - ① 事業戦略とサステナビリティの統合
  - ② 気候変動
  - ③ 自然資本
  - ④ 人権リスク
  - ⑤ 多様な価値観を持つ人的資本の活用
  - ⑥ ウェル・ビーイングな社会の実現に向けた課題解決
  - ⑦ 取締役会の再定義
  - ⑧ 資本効率性に対するコミットメントの強化
  - ⑨ 合理的な財務戦略の説明
- また、進捗管理も以下の5段階で実施されております。
  - ①課題の伝達 ⇒ ②認識の共有 ⇒ ③対応策の策定 ⇒ ④対応策の実施 ⇒ ⑤完了
- 運営体制としましては、エンゲージメント推進室が中心となり、企業調査部（アナリスト）、責任投資調査部（ESGスペシャリスト）がエンゲージメント活動を実施しております。
- 以上より、エンゲージメント活動については適切に管理され、建設的な対話を企図した体制が整備されていると評価しております。
- なお、再委託運用機関のエンゲージメントに関する詳細な情報は以下（責任投資レポート2022のエンゲージメント項目）をご参照ください。

[ri-report2022\\_09.pdf \(nomura-am.co.jp\)](https://www.nomura-am.co.jp/ri-report2022_09.pdf)

## 5. 弊社自らのスチュワードシップ活動

- 弊社が受益者様にご提供する運用商品はファンド・オブ・ファンズ型のため、弊社は投資先企業との直接対話や議決権行使の機会はございません。このため、議決権行使の実績はなく、また、企業との直接的な会話も実施していません。
- 一方、弊社の利益相反管理については、弊社自身で個別企業に直接投資していないため、議決権行使に係る判断は再委託運用機関に一任（再委託運用機関の判断を尊重）しており、これにより利益相反を回避しています。
- 前述の再委託運用機関のスチュワードシップ活動のモニタリングを実施することにより、再委託運用機関の評価に活かすことを通じて、お客様の中長期的なリターン獲得に努めております。
- また、提供する商品やサービスの報酬率の定期的な見直しを実施し、コンペティティブな水準を維持することに努めております。

以 上

**HITACHI**  
**Inspire the Next**